



●昨年の発表会での鬼首神楽。今年も練習を重ねています  
●2018年度には電力ビルで発表しました

鬼首小学校では総合的な学習の時間に「鬼首神楽」を練習しています。毎年、10月ごろから地元「鬼首の神楽保存会のみなさん」の神楽保存会のみなさんに来ていただき、ご指導をお願いしています。鬼首神楽は赤や黄色の衣装を着て、せんすを持ち、太鼓と鐘に合わせ踊ります。起源は岩手県の「南部神楽」。関東などの武士が奥羽地方にきたときに演じたものとされています。現在、後継者が減っており、将来に向けて保存会のみなさんに鬼首小の児童が教えてもらっているところ。普段は保存会の方々によって、地域の神社の祭典などで演じられています。私たちは今後の生活総合発表会に向けて練習をし、保護者や地域の方々に披露します。2018年度に仙台市の電力ビル



編集委員 大場拓磨、後藤心音、高橋葵(6年) 大山華美、後藤なる美、大場結芽(5年) 指導教諭 高橋彩彰

神楽披露へ

練習重ね踊りゆるやかに

鬼首小

学校名 大崎市立鬼首小学校  
所在地 大崎市鳴子温泉鬼首八幡原19  
電話 0229(86)2216  
校長 菅野 卓也  
児童 17人



合言葉「GOGO」

私たちの合言葉は「GOGO」です。5、6年生は計6人という、とても小さな複式学級です。しかし、みんなが家族のように仲良く過ごしています。「GOGO」という言葉には何事にもチャレンジする、というすてきな意味がこめられます。できないと思わず、「一回やってみよう」ということを心がけています。



次回は 山王小(多賀城市) 耕野小(丸森町)

住吉台小

学校名 仙台市立住吉台小学校  
所在地 仙台市泉区住吉台西4の1の1  
電話 022(379)3835  
校長 阿部 千幸  
児童 338人



復興願う折り鶴

今年新型コロナウイルスの影響で「仙台七夕まつり」が中止となり、仙台市内の小中学生による復興を願う折り鶴作りもなくなってしまいました。そこで「住吉台小だけでも伝統をつなごう」と全校で折りました。地域のボランティアにもご協力をいただき、気持ちのこもった1206羽を図書室前に飾り、みんなの心が一つになりました。



ハウスで楽しく観察！ 紫色の羽でひらひらと優雅(ゆうが)に飛ぶオオムラサキです

住吉台小学校では国蝶のオオムラサキを育てています。29年前に地域に「オオムラサキの舞うふる里を育てる会」が作られたのが始まりです。オオムラサキの飛び交うふる里にしたいと願って、アドバイスやサポートをいただき、会や地域の方と一緒に学校でも飼育を続けてきました。春に校地内にあるオオムラサキハウスで越冬した幼虫を観察し、一部を泉ヶ岳にある森に放します。そこには会の方々が植えたエノキの木が広がっています。夏になると、幼虫はエノキの葉をどんどん食べ、7〜8センチくらいまで成長し、7月ごろより次々と成虫になります。きれいな紫色の羽を持つのはオスだけです。ハウス内でも、ひらひらと美しく飛ぶ姿やえさ台に集まって蜜を吸う姿を間近に観察できます。休み時間にはみんなが観察に来ます。今年もたくさんのおオムラサキにふれ合い、命や自然環境の大切さを感じることができました。オオムラサキは住吉台小のシンボルです。



編集委員 辻知夏、濱中優、佐藤心桜、水取恵翔、但馬璃空、加藤悠暉、千葉遙人(6年) 指導教諭 後藤大典

国蝶を飼育

オオムラサキの成長観察

らと美しく飛ぶ姿やえさ台に集まって蜜を吸う姿を間近に観察できます。休み時間にはみんなが観察に来ます。今年もたくさんのおオムラサキにふれ合い、命や自然環境の大切さを感じることができました。オオムラサキは住吉台小のシンボルです。